

料 金 別 納 郵 便

ちぶ かざがた らいすいかい  
 戸田均展 [地振り、風形、雷水解]  
 HITOSHI TODA EXHIBITION

2018(平成30)年 3月28日(水)～4月7日(土)

正午～午後6時 日・月曜休廊 最終日は午後5時まで

思うとおりにならず、前後無く連れていかれ、或いは放り出されていく感じ。完成でもなく、前にも後ろにもいなくなつて、自分はもう入っていけなくなる瞬間がある、と、画家が話してくれたことがある。描くのではなく描かされる、無私ゆえの私を想う。完成という虚構を去りて、画家は未完ゆえの完を連れゆく。何処へ「連れていかれ」ようとも、光と闇、水や土や風流れ在るところの“種”に帰り、其処から今この時を結び貫き、自ずからの実在一時間と非時間があざなえる縄のごとくに紡がれしもの一あらわる。「放り出され」、途方に暮れても、その先には歌があり、険しくも繊細な絵肌の奥には、屹立した深秘が宿るようだ。「危機に立つ肉体」とは暗黒舞踏土方巽の言葉だが、詩人吉岡實は土方の秘儀によせて「青い柱」と言った。舞踏との精神的対話浅からぬ画家の背骨は、混沌の中にまっすぐ立ち、そして青みを帯びている。(田中壽幸)

略歴 1951愛媛県松山生まれ。1975創形美術学校造形科卒業。1976舞踏作品[正面の衣裳](土方巽 作・演出・振付)衣裳絵制作。1978個展(銀座・サトウ画廊)。1979第六感展(神奈川県民ホールギャラリー)。1990マブ・ワークショップ設立、'05まで各地に壁画制作(長崎ハウステンボス、今治国際ホテル、青山サバティニー 他)。2008新鋭作家五人展(大丸東京店アートギャラリー)。小品展(西荻窪トライフル)。2009個展(神田・ギャラリー広岡美術)、'17まで6回開催。2015、2017個展(銀座・清澄画廊)。



ギャラリーさわらび ～おかげさまで開廊15周年～

〒104-0061 東京都中央区銀座1-9-8 奥野ビル2F

Tel 050-3635-3001 Fax 03-5159-0041

e-mail: tanaka@gsawarabi.com

http://www.gsawarabi.com

● 昭和7年建築の旧銀座アパートメント(奥野ビル)2階です